

《地域で育む福祉教育推進事業》

～現状～

- 1 介護福祉士国家試験合格率
大分南:96.0%(全国68.2%)
- 2 就職・進学実績
大分南:就職率100%達成(県内就職100%)

	人数	割合	備考
就職者	44	58.7%	福祉系就職者95%
進学者	31	41.3%	福祉系大学進学者79%

～これまでの取組・成果～

【取組】

1. 福祉施設との「福祉ネットワーク協議会」の開催
2. 福祉系大学等への聴講・見学
3. 介護福祉士国家試験合格セミナーの開催
4. 教員の指導力向上
5. 生徒・教員と福祉施設職員の共学の間作り
6. 「介護技術コンテスト」の開催

【成果】

- 各校での特色ある取組が見られるようになった
 - ・介護実習事例研究発表会
 - ・卒業生を囲む会（野津高卒業生からの先輩講話）
 - ・大分南高校デイサービスの実施
- 介護福祉施設等との理解、協力、新たな連携が図れた
 - ・ネットワーク協議会参加者の増加
 - ・福祉保健部、大分県介護福祉士会との新たな連携開始

～課題～

①今後増大する介護福祉人材のニーズ

	2012年(H24)	2017年(H29)	2020年(H32)	2025年(H37)
介護職員	19,578	22,275	23,359	24,627
うち介護福祉士	7,913	9,272	9,792	10,314

「大分県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画」より抜粋

※県内ではH37までに約5,000人の介護職員の確保が必要！

(うち約半数は介護福祉士)⇔約半数は非専門職:その確保と育成は重要

		離職率	
		H25	H26
全国	全職種	15.6	15.5
	介護関係	16.6	16.5

(介護労働安定センター実態調査他)

福祉系高校を卒業し福祉分野に就職したものの離職率			
	1年目	2年目	3年目
離職率	13.5%	10.1%	4.7%

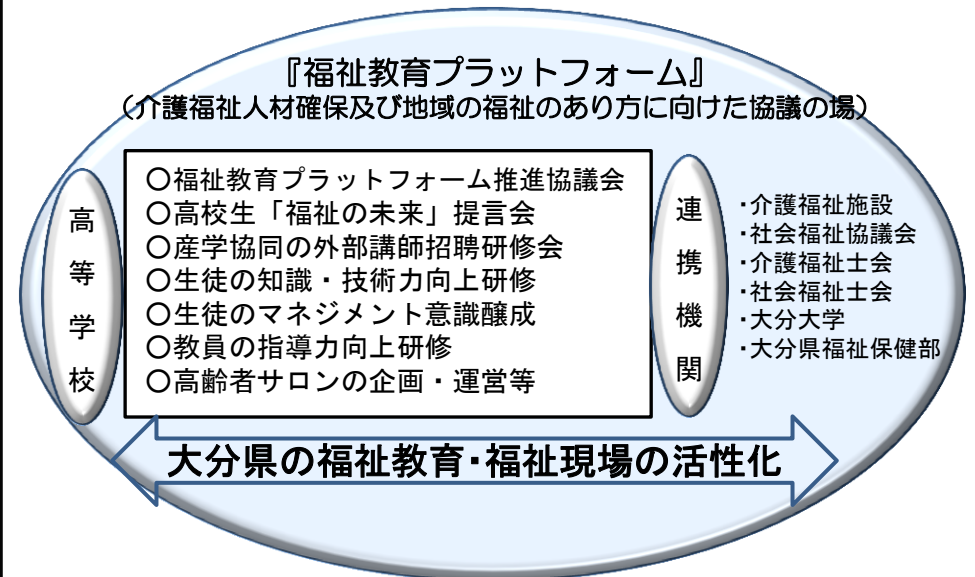
(全国福祉高等学校長会調査)

②介護人材の量的・質的確保のためには、介護福祉施設の労働環境整備が不可欠
→将来を見据えたマネジメント意識の醸成が重要

～事業概要～

目的

福祉系高等学校の生徒が、地域連携の取組から専門的な学びを深め、マネジメント意識の醸成を図ることで、地域の介護福祉人材の質の向上と量の確保に寄与し、地域福祉の活性化を担う人材を育成する。



～対策～

学校と介護福祉施設等が連携した人材の質の向上

1 マネジメント能力の育成

- ① 学校と介護福祉施設等がマネジメント研修を共に学ぶ
- ② 高校生が高齢者サロンの企画・運営にマネジメント研修の成果を生かす

2 魅力ある介護福祉労働環境づくり

- ① 『福祉教育プラットフォーム』での連携を推進する
- ② 高校生から介護福祉施設等へ『福祉の未来』としてアイデア提言や意見交換をする

～成果～

- 地域で福祉人材を育む体制構築
- 魅力ある福祉現場を目指した運営
- マネジメント意識を持った福祉人材の育成